

第2次調査

**(仮称) 狭山市地域福祉推進計画  
親子アンケート調査報告書**

平成26年1月

狭山市、社会福祉法人狭山市社会福祉協議会

# 目 次

第1節 調査の概要	・・・	1
第2節 調査の結果【児童・生徒編】	・・・	2
(1) 回答者に関する基本的な情報	・・・	2
(2) 地域に関すること	・・・	3
(3) 要援護者への支援に関すること	・・・	7
第3節 調査の結果【保護者編】	・・・	14
(1) 回答者に関する基本的な情報	・・・	14
(2) 暮らしにおける悩みや不安に関すること	・・・	17
(3) 家族と身の回りに関すること	・・・	20
(4) ご近所づきあいや自治会活動に関すること	・・・	24
(5) 地域活動に関すること	・・・	28
(6) 地域団体等が行う福祉的活動の利用に関すること	・・・	31
(7) 震災を契機とした今後の活動に関すること	・・・	32
(8) 身近に感じる地域に関すること	・・・	34
(9) 福祉教育に関すること	・・・	40
(10) 自由意見	・・・	42

## 第2次（親子アンケート）調査中間報告

### 第1節 調査の概要

#### （1）調査の目的

狭山市地域福祉推進計画の策定にあたり、狭山市民の福祉に関する意識及び潜在的なニーズ等を把握するとともに、今後の地域福祉に関する計画のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

#### （2）調査対象世帯

792世帯（市内の公立小学校の5年1組または中学校2年1組に在籍する児童・生徒及びその保護者）

#### （3）調査方法

学校を通じた配布・回収

#### （4）調査期間

平成25年10月1日（火）から25日（金）まで

#### （5）回収結果

- ① 配布数：792票
- ② 有効回収数：716票
- ③ 回収率：90.4%

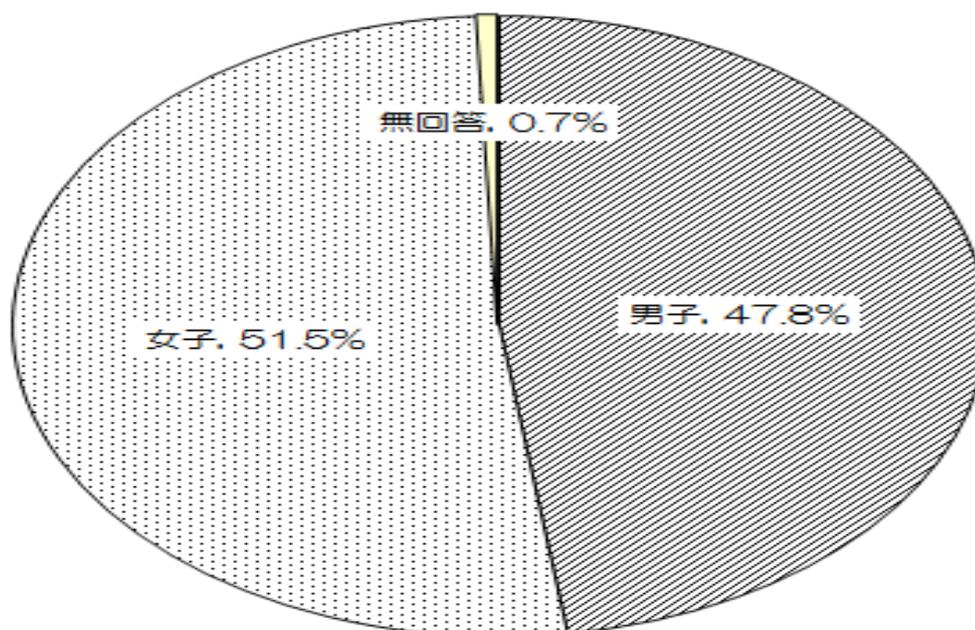
#### （6）注意事項

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常の100%を超えます。
- ③ 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いることがあります。

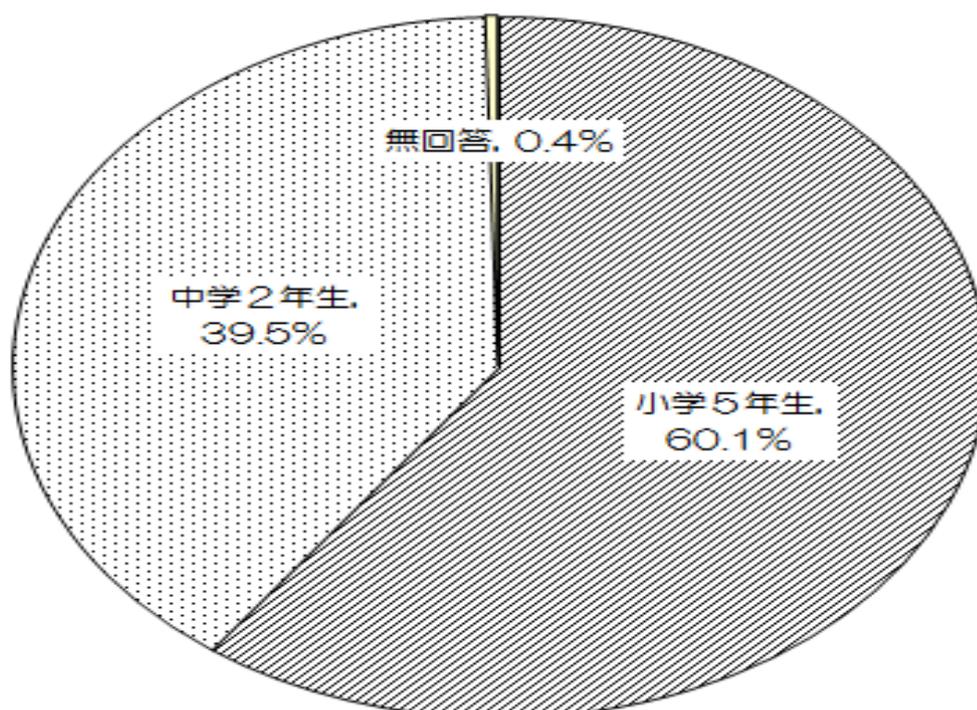
## 第2節 調査の結果【児童・生徒編】

### (1) 回答者に関する基本的な情報

問1 性別

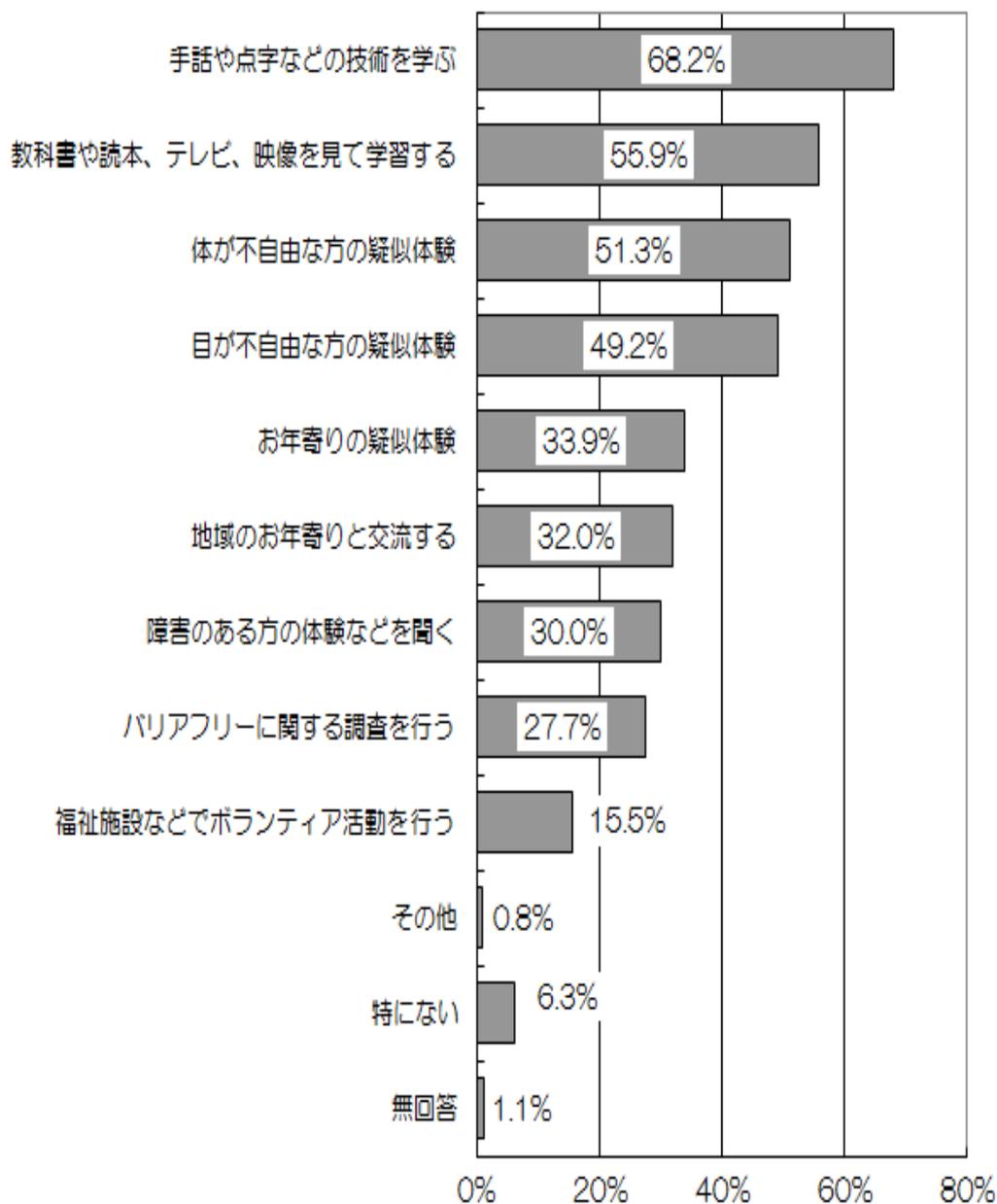


問2 学年



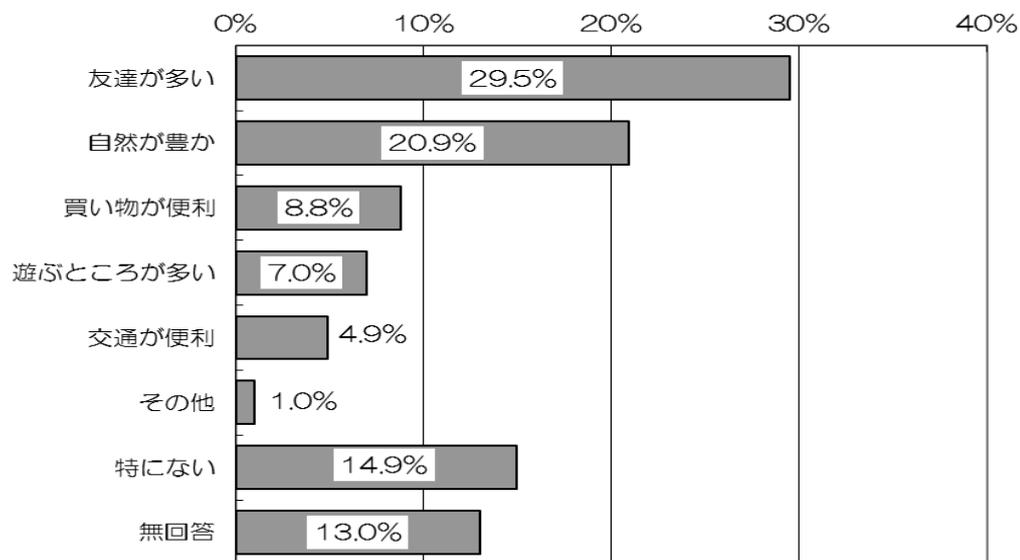
## (2) 地域に関すること

問3 福祉（みんながいつまでも仲良く幸せに生活すること）に関して、学校で学んだことがあるもの。あてはまるところ（全て）をお答えください。



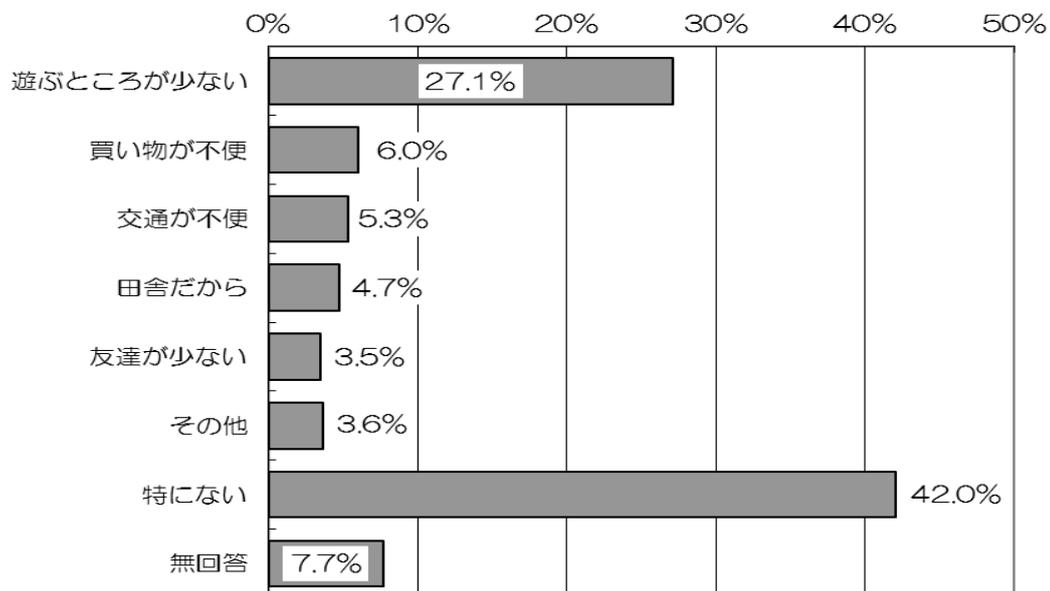
「手話や点字などの技術を学ぶ」(68.2%) がもっとも高く、次いで「教科書や読本、テレビ、映像を見て学習する」(55.9%)、「体が不自由な方の疑似体験(車椅子に乗る)」(51.3%)、「目が不自由な方の疑似体験(目隠しし、杖を頼りに歩く)」(49.2%) となっています。

#### 問4 住んでいる地域の好きなところ、良いところ



「友達が多い」(29.5%)がもっとも高く、次いで「自然が豊か」(20.9%)となっています。

#### 問5 住んでいる地域のきれいなところ、悪いところ



「遊ぶところが少ない」(27.1%)がもっとも高く、次いで「買い物が不便」(6.0%)となっています。

問6 あなたは、どのような地域なら、大人になっても住みたいと思いますか。(自由回答)

### 主な意見

- 何かあった時に、みんなで協力して助け合える。
- みんな、仲良く、交流できる。
- 自分が子どもを産んだ時に、育てやすい地域。
- 遊ぶところが増えてほしい。
- 買い物や交通が便利になると良い。
- 災害があった時に、すぐに避難できる。
- 自然が豊かである。

### ① 地域のつながりと支え合いの必要性に関すること

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自然が豊かで、近所の人たちと助け合える、交流が多くある</u></li> <li>● <u>お年寄りが困っていたら、すぐに助け合う。</u></li> <li>● <u>近所でいつでも助け合える</u></li> <li>● <u>友達が多く、すぐにご近所で助け合える。</u></li> <li>● <u>災害が起きた時、すぐに助け合え、誰とでも挨拶できる。</u></li> <li>● <u>どんなことがあっても、助け合えるご近所同士。</u></li> <li>● <u>いつでもご近所の人にあったら、挨拶ができる。</u></li> <li>● <u>家の近くに友達がいて、何かあった時に助け合う。</u></li> <li>● <u>みんなが交流できる地域。</u></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>いじめのない、仲が良いご近所がいる。</u></li> <li>● <u>近所の住人と仲良くし、困った時に助け合える。</u></li> <li>● <u>自分が子供を産んだとき、育てやすい地域。</u></li> <li>● <u>皆が助け合ったり、協力したりして、いつまでも家族のような関係のところ。</u></li> <li>● <u>助け合えて、みんながニコニコしている明るい町。</u></li> <li>● <u>困ったときは、すぐに近所の人や家族に言える。</u></li> <li>● <u>田や畑が多く、自然が豊かで、買物も直ぐに行け、みんなで助け合えるところ。</u></li> </ul> |
|--|---|

### ② 防災に関すること

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>災害にあったとき、避難がすぐできる。</u></li> <li>● <u>災害が起きたときに、学校にすぐ避難できる。</u></li> <li>● <u>地震がきても耐えられる家。友達が大勢いるところ。</u></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>津波や地震があまりない</u></li> <li>● <u>地震のあまりない地域に住みたい。</u></li> <li>● <u>災害が起きた時、学校は少し遠いから、近くに避難できる場所がある。</u></li> </ul> |
|--|--|

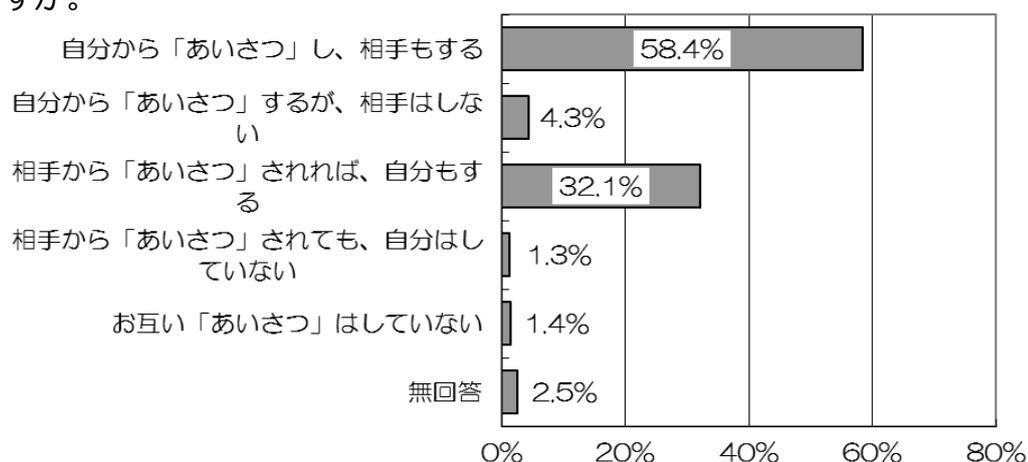
### ③ 遊び、買い物、交通に関すること

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物がすぐにできる。</li> <li>● 家のすぐ近くにコンビニがある、マックが近くにある。</li> <li>● 遊ぶ所をもっと増やして。</li> <li>● 遊ぶところがもう少し増えれば楽しい。</li> <li>● もっと自然豊かで、もう少しバスが便利な町。</li> <li>● 交通の便が多く、ご近所と仲良く暮らせる事故のない街</li> <li>● 障害者用の広くて段がない歩道をもっと増えればいい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 遊ぶところや買い物をするとところが近くにあり、交通や災害時の避難場所などがしっかりある。</li> <li>● 田舎なんだけど、そこまで田舎じゃなくて、買い物とかも近くにあって、避難場所とかもしっかりある。</li> <li>● 交通事故が少なく、安全。</li> <li>● 緑が多く、周りの人との交流が深く、すぐに買い物がしやすいところ。</li> </ul> |
|---|---|

### ④ 自然、環境に関すること

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然豊かで、空気が汚れていない。</li> <li>● 田舎で自然が多く、楽しい。お茶の畑もいっぱいある。</li> <li>● もっと活気のある地域。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 清潔で緑が多く、観光名所もある街。</li> <li>● 働くところが多い町が良い</li> <li>● 都会に住みたい。仕事場がすぐ見つかるから。</li> </ul> |
|--|--|

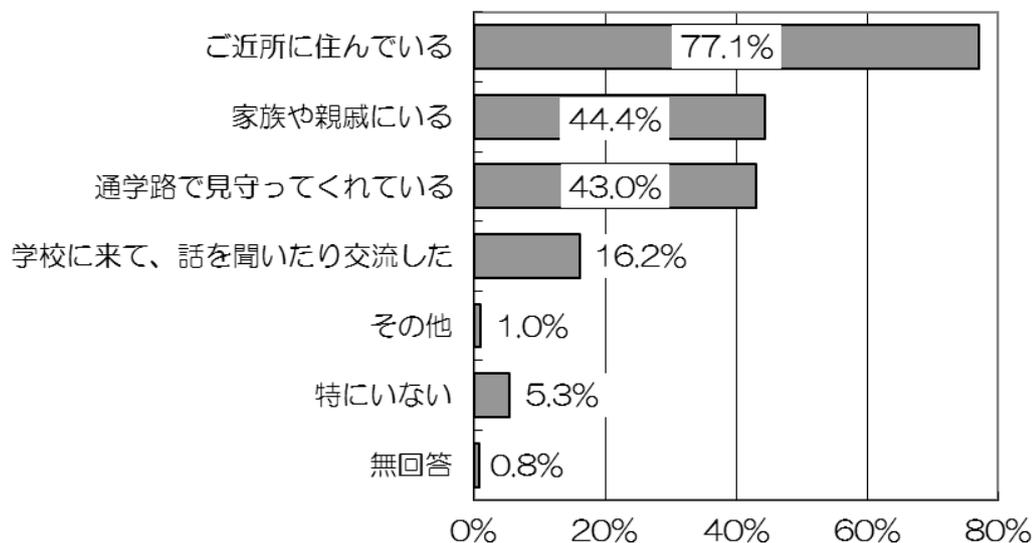
問7 あなたは、ご近所の方など、地域の大人に対して「あいさつ」をしていますか。



「自分から「あいさつ」し、相手もしている」(58.4%) がもっとも高く、次いで「相手から「あいさつ」されれば、自分もする」(32.1%) となっています。

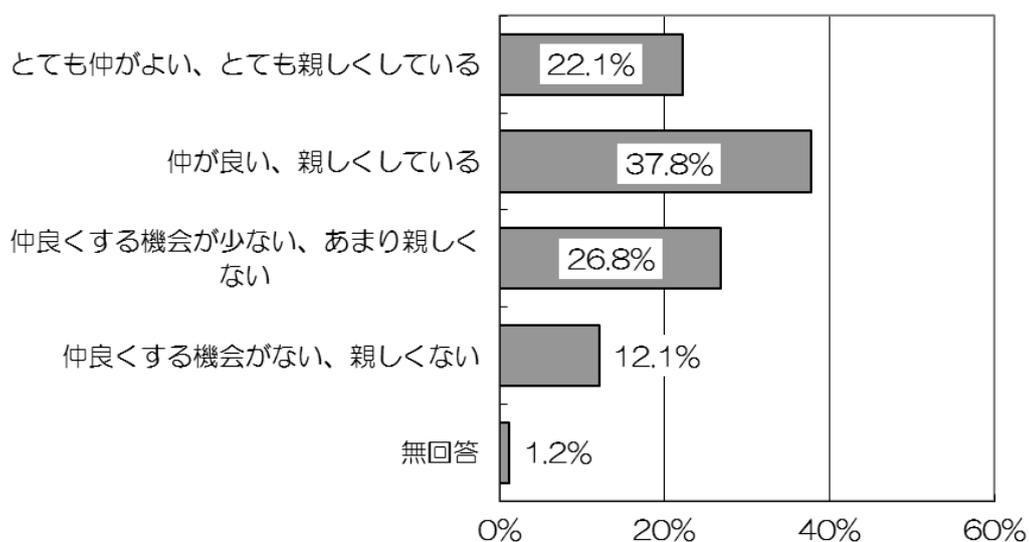
### (3) 要援護者への支援に関すること

問8 あなたが住んでいる地域には、お年寄り（おじいさんやおばあさんなど）がいますか。あてはまるところ（全て）をお答えください。



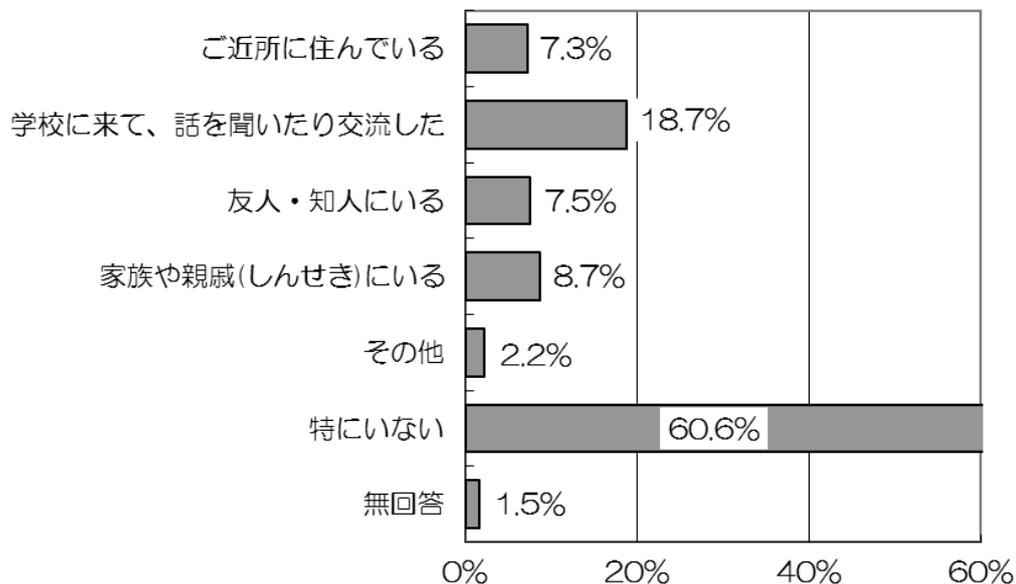
「ご近所に住んでいる」（77.1%）がもっとも高く、次いで「家族や親戚にいる」（44.4%）、「通学路で見守ってくれている」（43.0%）となっています。

問9 あなたは、そのお年寄りとの仲が良いですか。



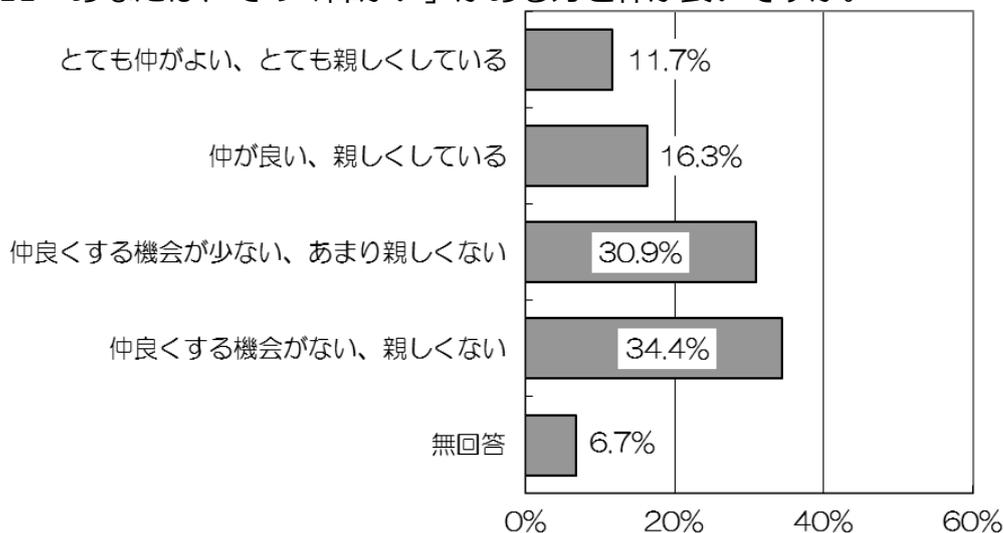
「仲が良い、親しくしている」（37.8%）がもっとも高く、「とても仲がよい、とても親しくしている」「仲が良い、親しくしている」を合わせて、お年寄りとの仲が良いとの回答が59.9%となっています。

問 10 あなたが住んでいる地域には、「障がい」がある方がいますか。あてはまるところ（全て）をお答えください。



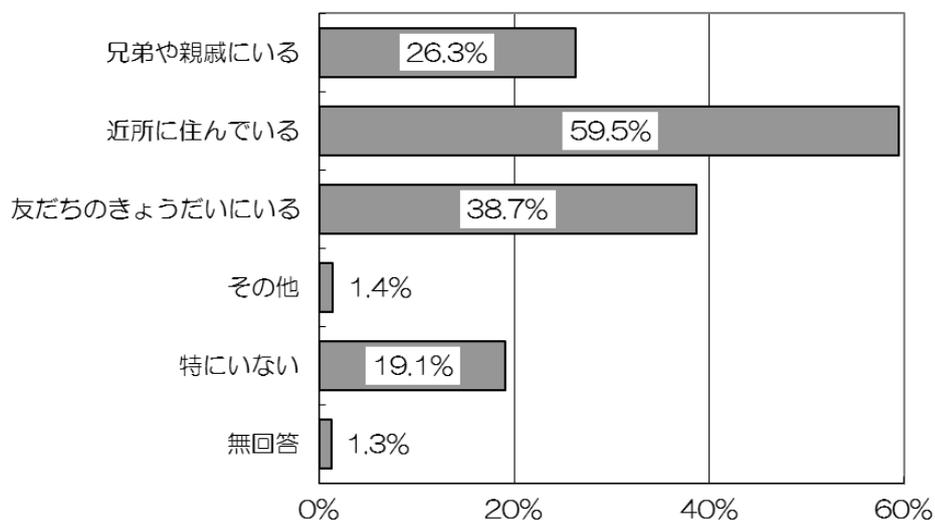
「特にない」(60.6%) がもっとも高く、次いで「学校に来て、話を聞いたり交流した」(18.7%) となっています。

問 11 あなたは、その「障がい」がある方と仲が良いですか。



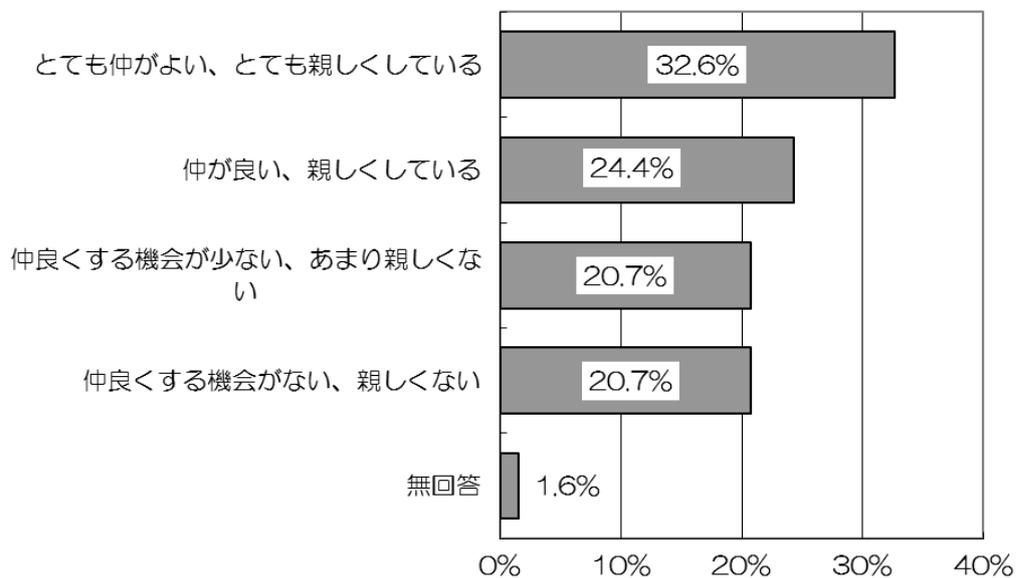
「仲良くする機会がない、親しくない」(34.4%) がもっとも高く、「とても仲がよい、とても親しくしている」「仲が良い、親しくしている」を合わせて、「障がい」のある方と仲が良いとの回答が 28.0% となっています。

問 12 あなたが住んでいる地域には、乳幼児（赤ちゃんや幼稚園・保育園に通う子）がいますか。あてはまるところ（全て）をお答えください。



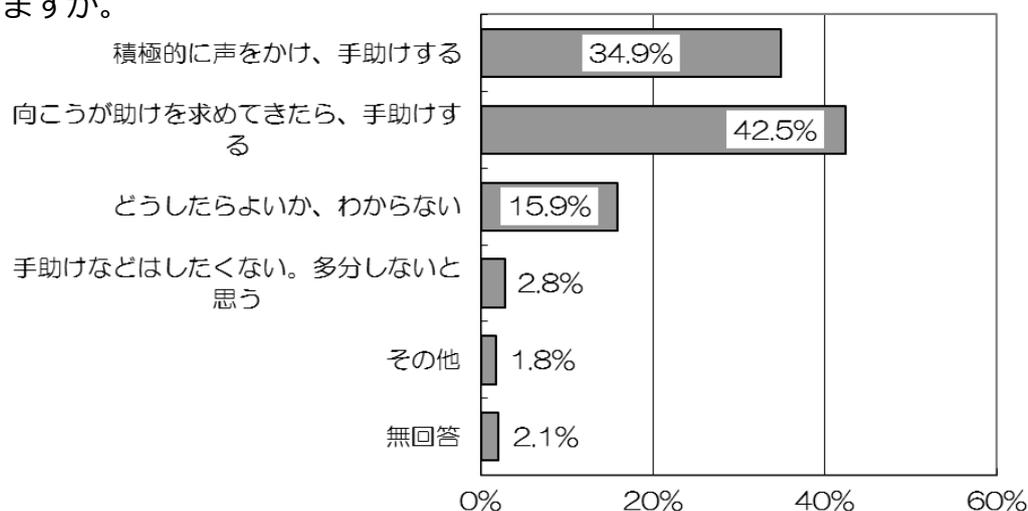
「ご近所に住んでいる」（59.5%）がもっとも高く、次いで「友だちのきょうだいにいる」（38.7%）となっています。

問 13 あなたは、その乳幼児と仲が良いですか。



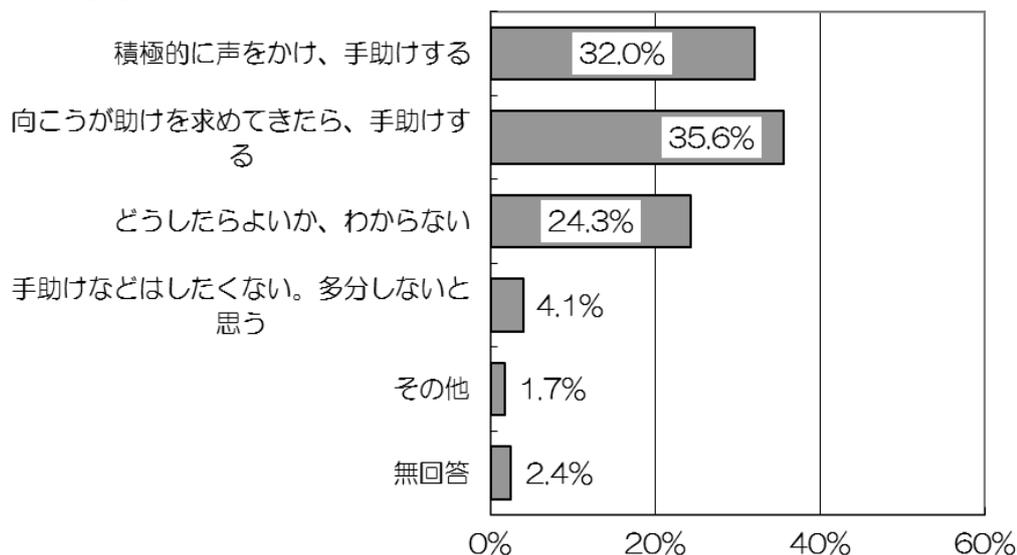
「とても仲がよい、とても親しくしている」（32.6%）がもっとも高く、「とても仲がよい、とても親しくしている」「仲が良い、親しくしている」と合わせて、乳幼児と仲が良いとの回答が57.0%となっています。

問 14 近所にいる おじいさんが道で困っています。あなたなら、どのように接しますか。



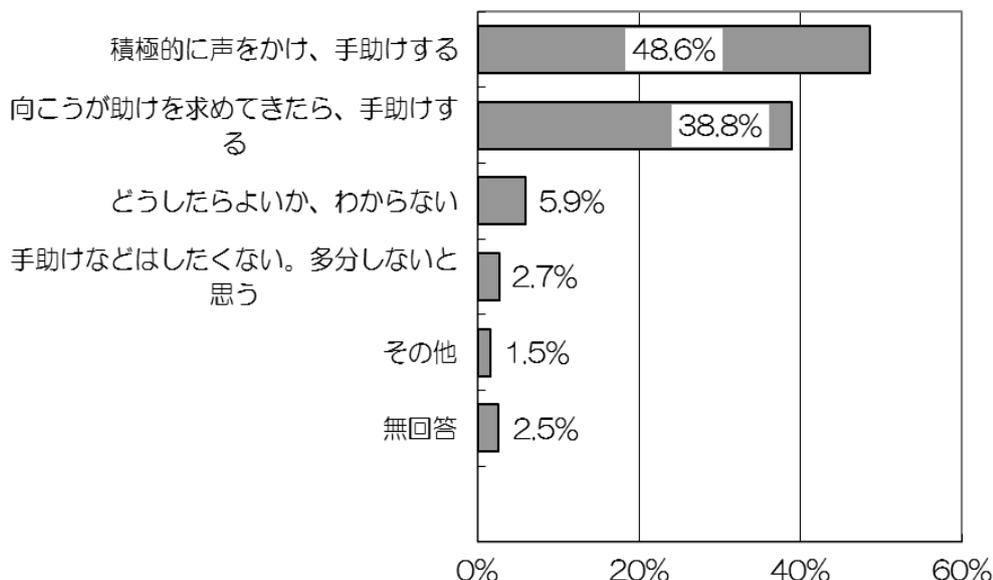
「向こうが助けを求めてきたら、手助けする」(42.5%)が最も高く、「積極的に声をかけ、手助けする」「向こうが助けを求めてきたら、手助けする」と合わせて、手助けをするとの回答が77.4%となっています。

問 15 近所にいる 「障がい」がある方が道で困っています。あなたなら、どのように接しますか。



「向こうが助けを求めてきたら、手助けする」(35.6%)がもっとも高く、次いで「積極的に声をかけ、手助けする」「向こうが助けを求めてきたら、手助けする」と合わせて、手助けをするとの回答が67.6%となっています。

問 16 校内で困っている生徒がいます。あなたなら、どのように接しますか。



「積極的に声をかけ、手助けする」(48.6%)がもっとも高く、「積極的に声をかけ、手助けする」「向こうが助けを求めてきたら、手助けする」と合わせて、手助けをするとの回答が87.4%となっています。

問 17 今後、何らかの支援を必要とするお年寄り（おじいさんやおばあさんなど）、「障がい」がある方などが、一段と増えていきます。みんながいつまでも仲良く幸せに生活していくためには、どんなことが必要ですか。あなたの考えや気持ちを書いてください。

### 主な意見

- 思いやりをもって、やさしく接することが必要。
- 普段から交流をし、お互いのことを知る。
- 手話で話しかける。
- 積極的に声をかけ、挨拶をすることで、仲良くする。
- 相手の立場になって、やさしくする。
- 同じ人間として思いやりを持ち、積極的に助ける。
- 困っている人がいたら、積極的に助ける。
- 車いすでも移動しやすいように、歩道を広くすると良い。
- バリアフリーの場所を増やす。
- もっと身近なところに施設や大きな病院があると良い。

## ① 地域のつながりと支え合いに関すること

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● <u>声をかけ</u>、おじいさん、おばあさんや障がいなどがある人を<u>手助けしたい</u>と思う。</li><li>● <u>思いやりをもって接し</u>、どんなことがあっても助け合う</li><li>● 障がいのある方に頼まれても、頼まれなくても、<u>自分から積極的に手助けしたい</u>。</li><li>● 「この人は障がいをもって<br/>いるから、いやだ」ではなく、<u>同じ人間として思いやりを持ち、自分から積極的に助ける</u>。</li><li>● <u>思いやりをもち</u>、笑顔で優しく接する事が大切だと思う</li><li>● 近所にそのような方がいたら、<u>積極的に挨拶をし</u>、見かけなくなったら、家に安否確認などをして、事件などでご老人が被害に合わない様にしていけたらいいと思います。</li><li>● 毎日元気に挨拶して、笑顔で接する。</li><li>● <u>普段から交流し</u>、お互いのことをよく知って仲良くする</li><li>● <u>思いやりを</u>いつも忘れない</li><li>● 相手の人が挨拶してくれなくても、<u>自分から挨拶する</u>。</li><li>● <u>声かけや挨拶の他</u>、助け合いをしたり、<u>思いやりをもつ</u>ことが大事だと思います。</li><li>● 障がいがあっても、勇気を出して<u>お互いに助け合う</u>。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 自分から、初めて会った人でも<u>積極的に声をかけ</u>、お互いに挨拶をし、親しくなることが大切だと思う。</li><li>● <u>お互い助けあい</u>、<u>挨拶する</u></li><li>● <u>自分から挨拶すると僕のことを覚えていてくれるから</u>、気持ち良くなる。</li><li>● <u>話しかけたりすることが大事</u>だと思う。</li><li>● <u>積極的に言葉を交わし</u>、相手の立場に立って考えてあげられるやさしさをもつこと。</li><li>● 近所や地域の方も障害者を受け入れ、仲良くする</li><li>● <u>もっとバリアフリーの場所を増やし</u>、皆がお年寄りに優しくしていけば、皆がいつまでも仲良く幸せに暮らせると思います。</li><li>● 耳が不自由な人がいたら、<u>手話でお話したい</u>と思います</li><li>● 障がいのある人には、<u>手話とかで話しかけたい</u>。</li><li>● お互い信頼しあい、何かあったらすぐ相談でき、とても仲良く接することが出来ればいいと思う。</li><li>● 物忘れが激しい人には、シールを箱に貼り、シールに箱の中の物を書き、使い終わったら、その使った物を箱に戻すということをやるといい。</li></ul> |
|---|--|

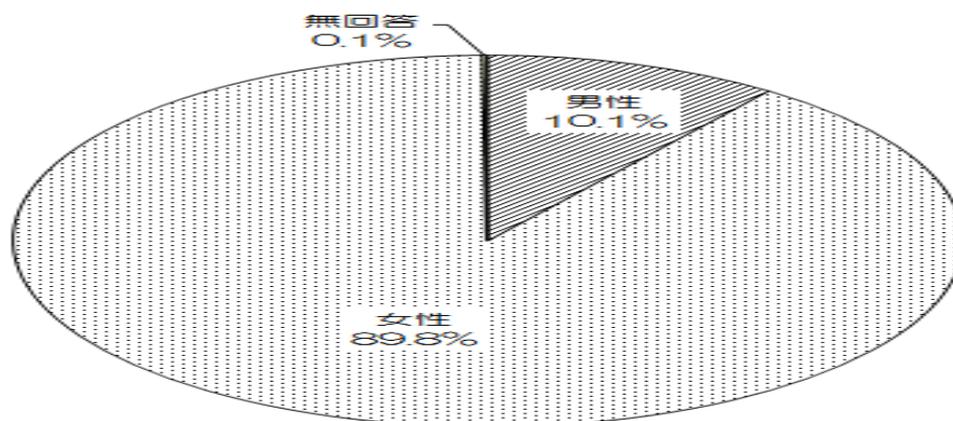
## ② 環境に関すること

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● <u>バリアフリー</u>の場所を増やし、近所の住人と仲良くする。</li><li>● 便利な商店街があり、歩道がいっぱいあるところ。</li><li>● 歩道がもっと広くしたり、信号も増やしていったほうがいいと思う。</li><li>● もっと身近に、老人を預かってもらう<u>施設</u>や<u>大きい病院</u>があったら、家族は安心できると思う。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 介護が必要。<u>介護施設</u>も必要。一般の人も、簡単に介護ができる方法があった方がいい。全国の駅にエレベーターがあると良い。</li><li>● 障がい者専用の電車があると障がい者の人たちが喜ぶと思う。もっと思いやりを大切にしてほしい。</li><li>● バスにお年寄りが座るところをもっと増やす。</li></ul> |
|---|---|

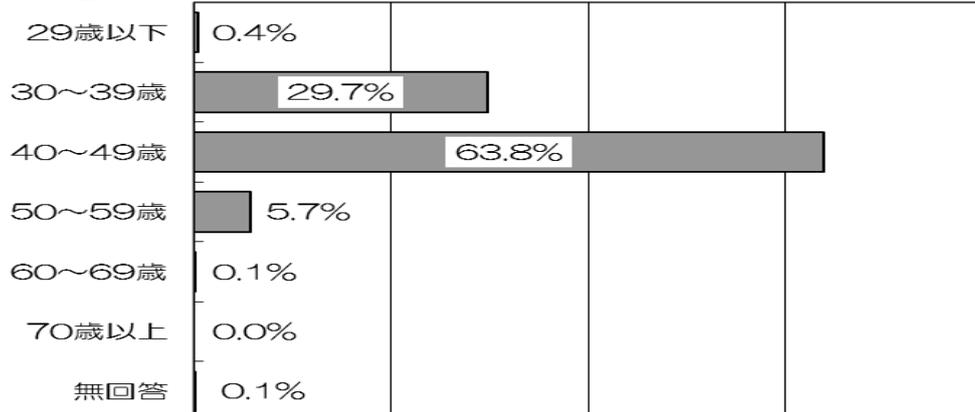
## 第2節 調査の結果【保護者編】

### (1) 回答者に関する基本的な情報

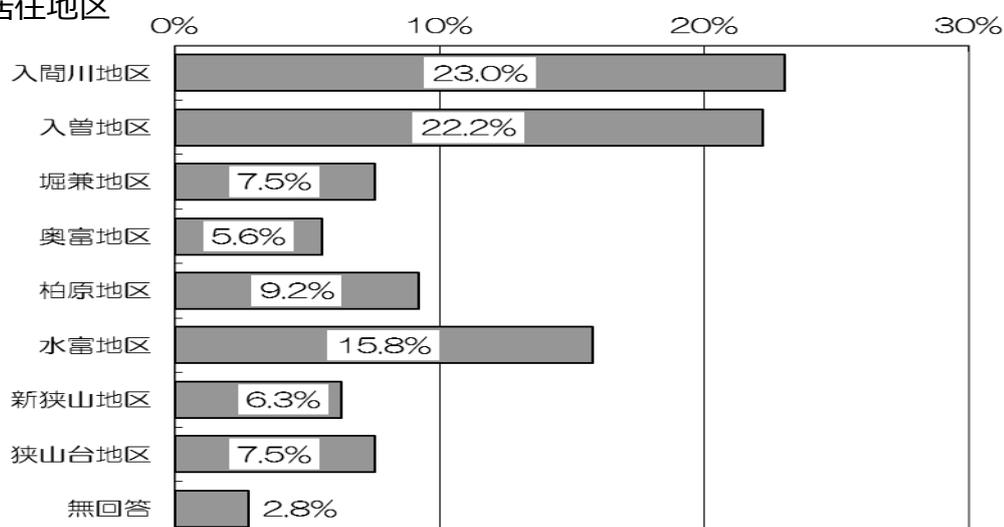
問1 性別



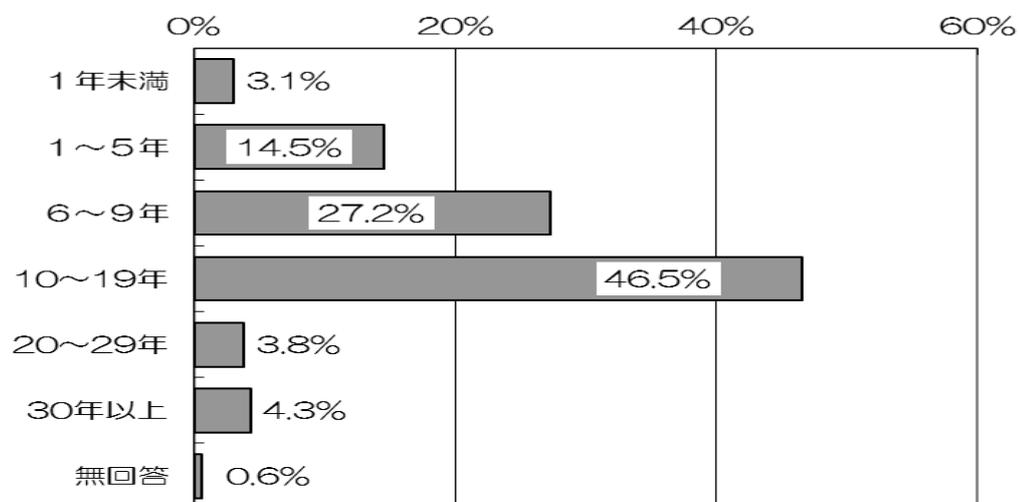
問2 年齢層 0% 20% 40% 60% 80%



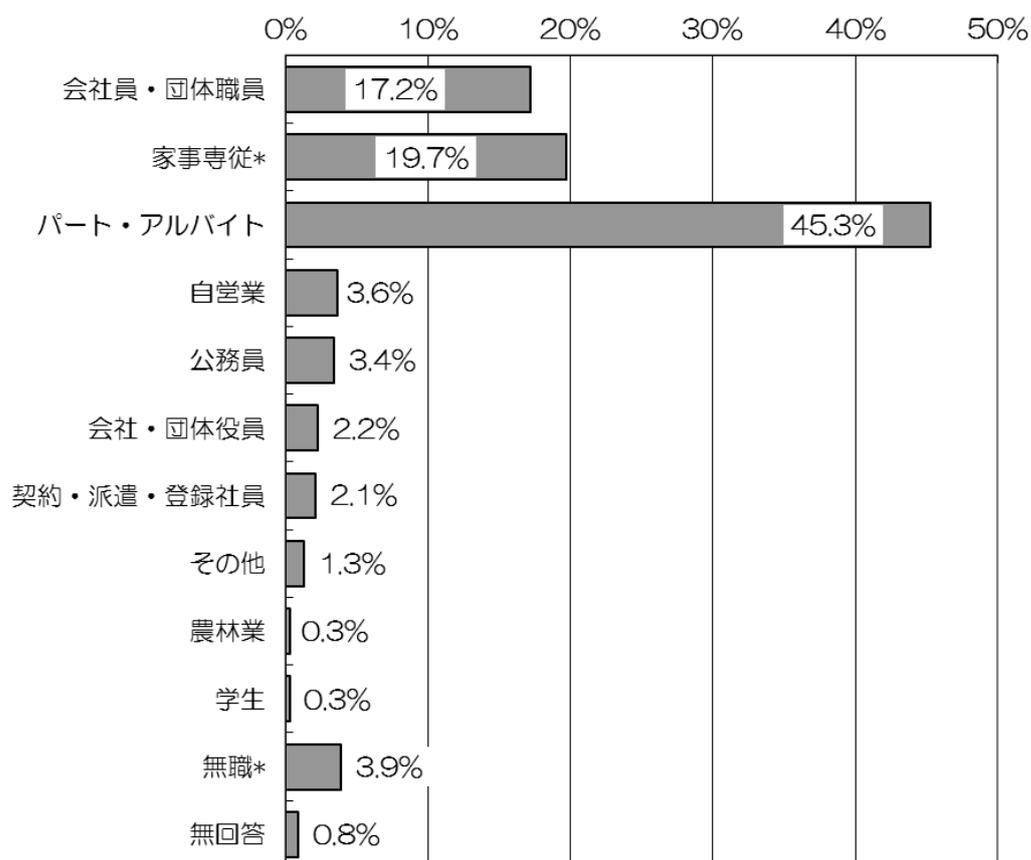
問3 居住地区



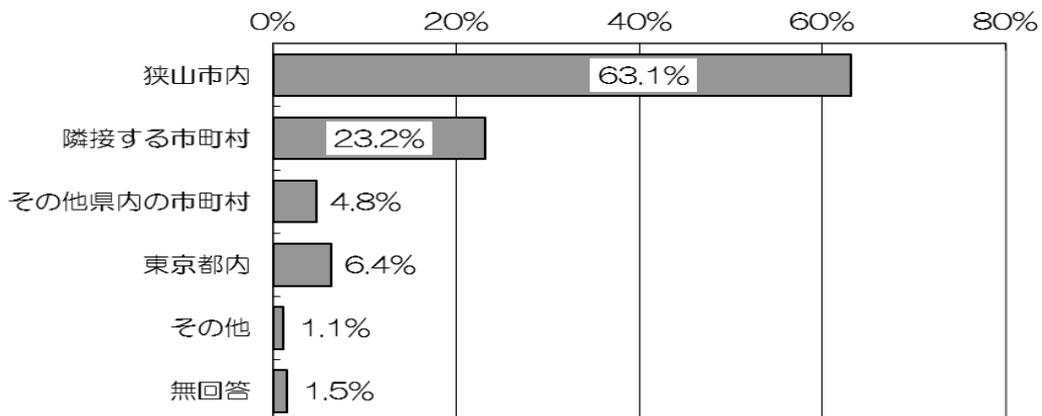
#### 問4 現住所の居住年数



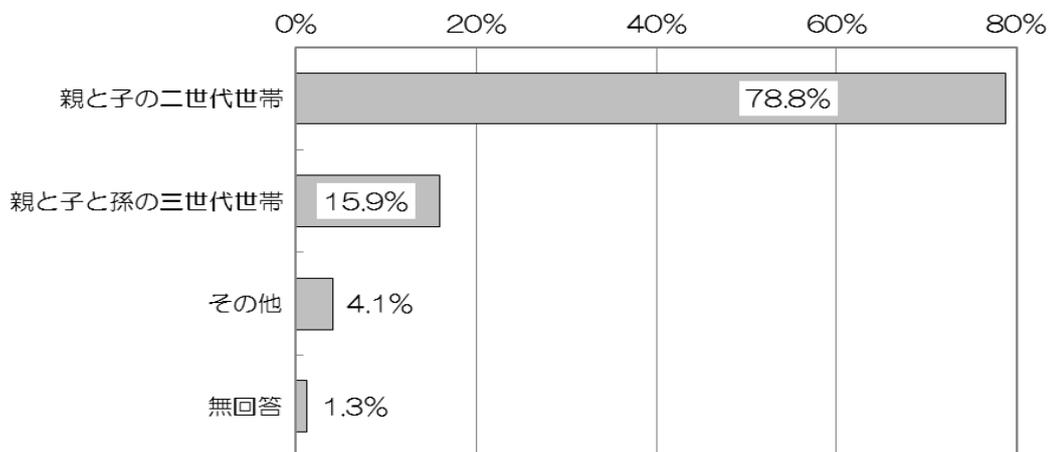
#### 問5 職業



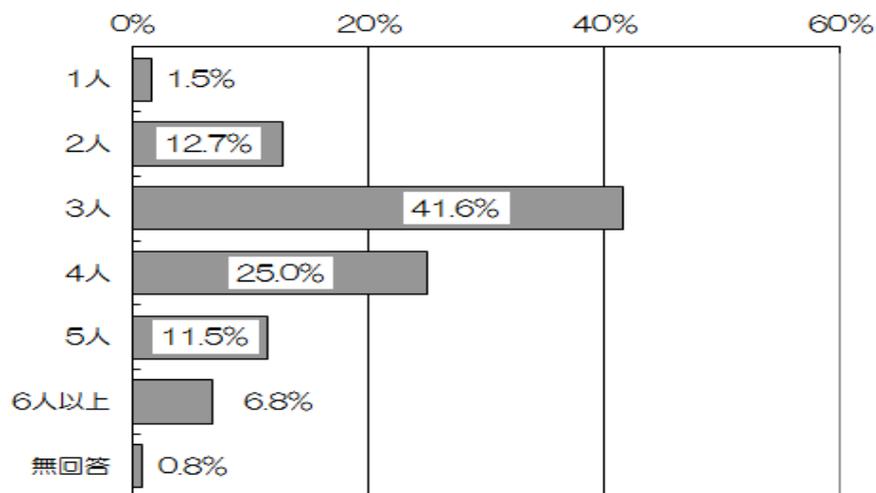
問 6 通勤・通学先の場所



問 7 家族構成

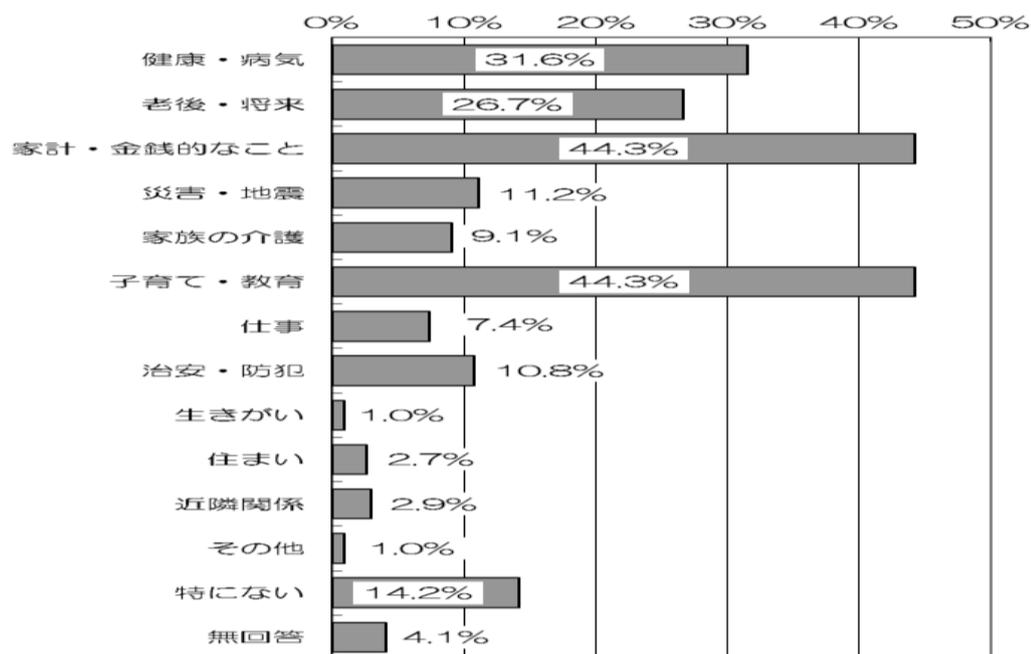


問 8 同居の人数（回答者は人数に含めないものとする。）



## (2) 暮らしにおける悩みや不安に関すること

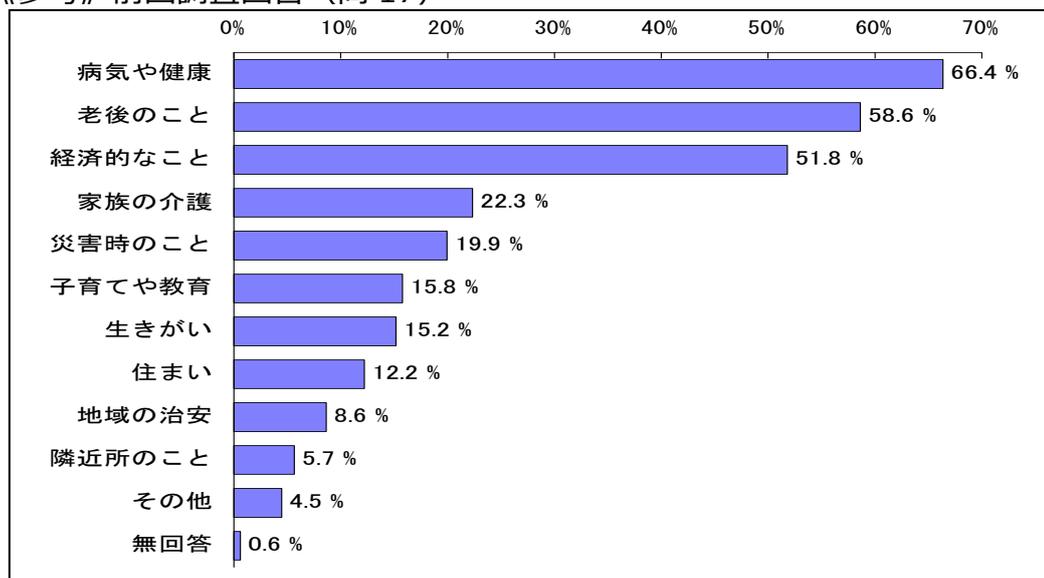
問9 暮らしの中で、あなた自身やご家庭のことで、どのような「悩み・不安」がありますか。あてはまるところ（3つ以内）をお答えください。



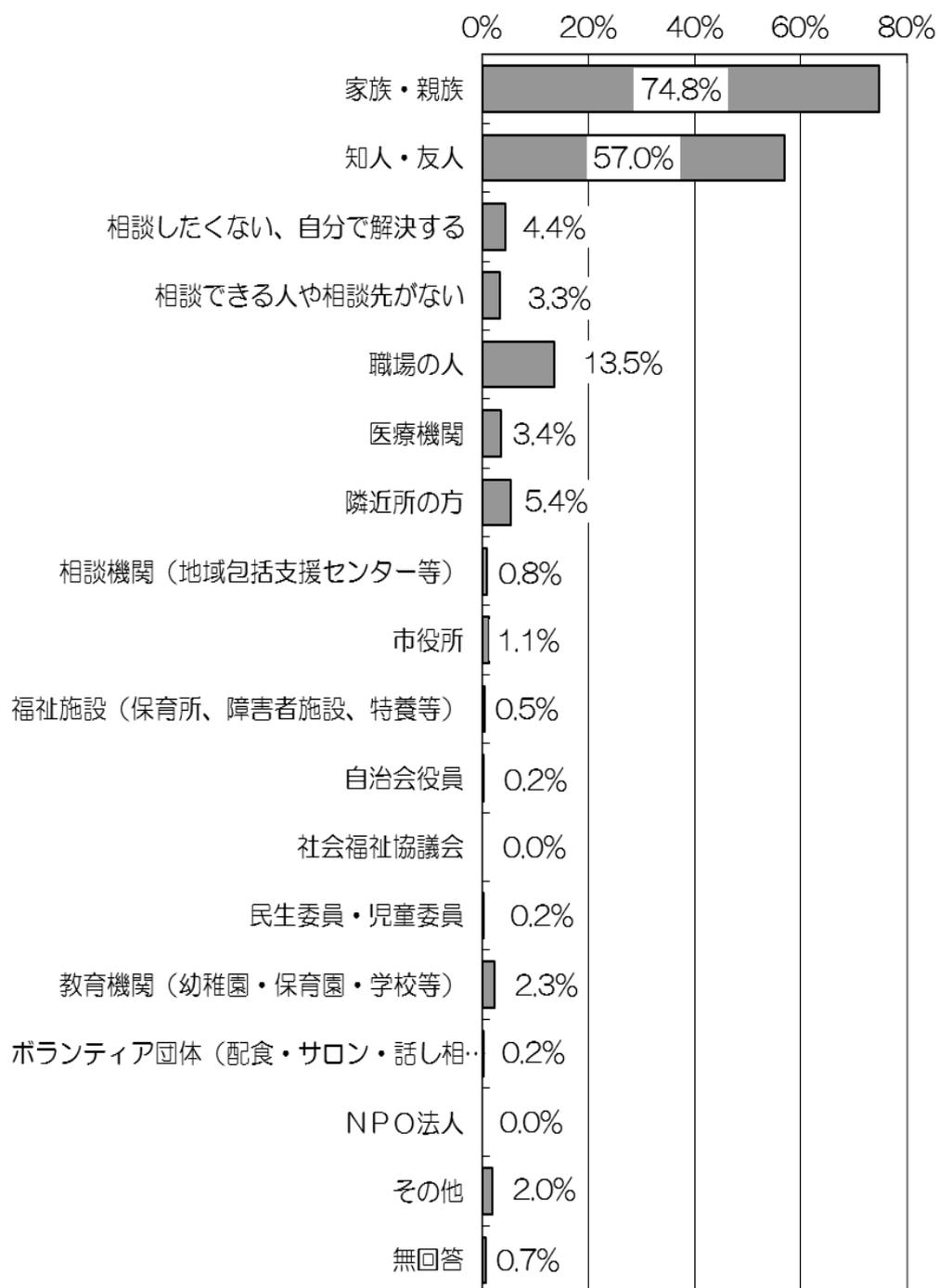
「家計・金銭的なこと」(44.3%)、「子育て・教育」(44.3%) がもっとも高く、次いで「健康・病気」(31.6%)、「老後・将来」(26.7%) となっています。

なお、前回調査では、「病気や健康」「老後のこと」「経済的なこと」の順となっています。

《参考》 前回調査回答 (問 17)

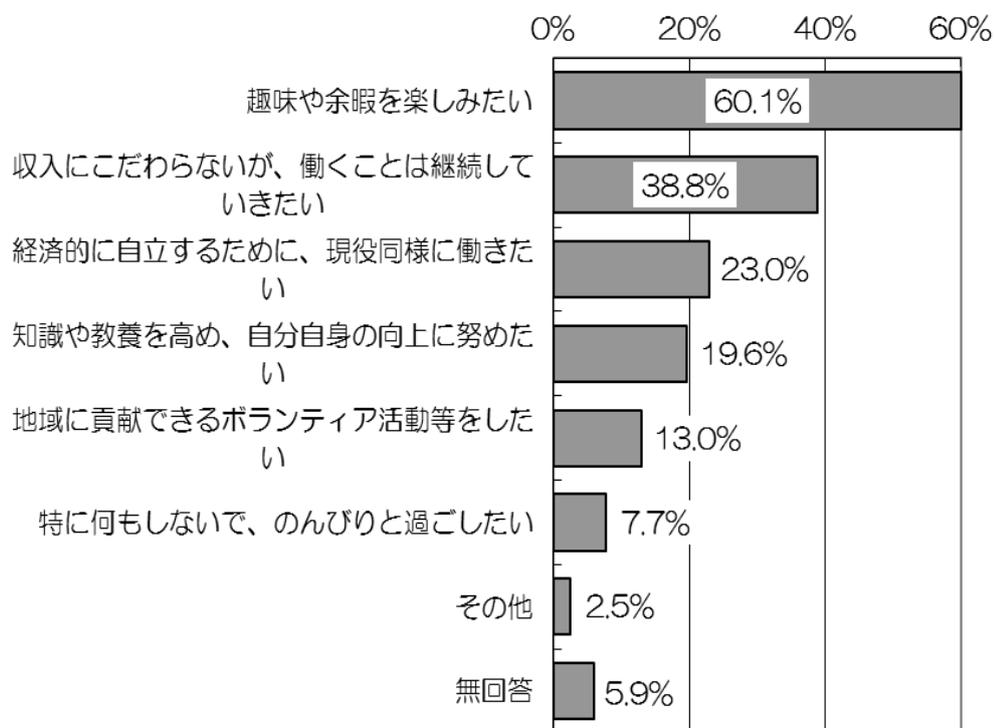


問 10 その「悩み・不安」について、誰に相談されていますか。あてはまる  
ところ（3つ以内）をお答えください。



「家族・親族」（74.8%）がもっとも高く、次いで「知人・友人」（57.0%）、「職場の人」（13.5%）となっています。

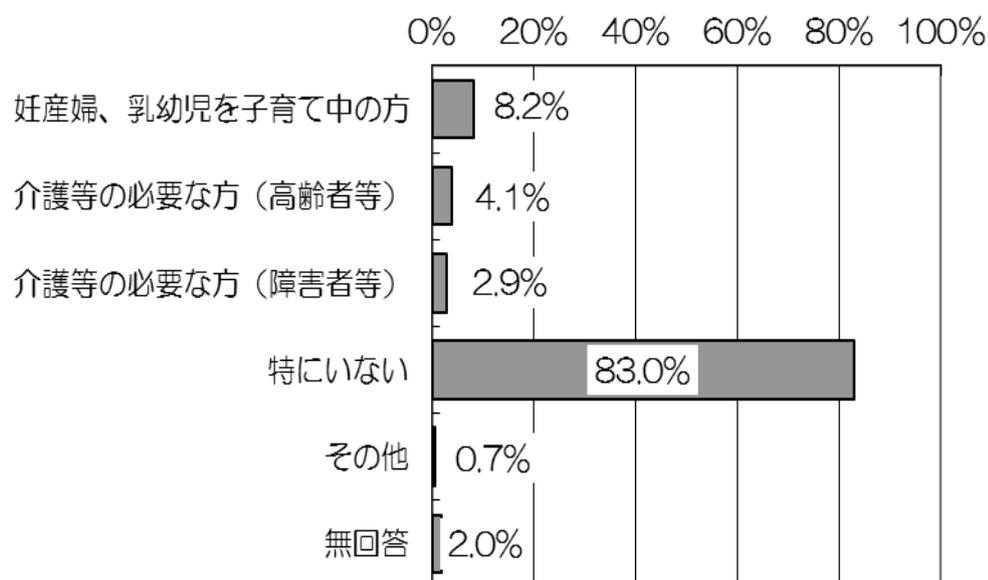
問 11 あなたは、あなた自身が 60 歳を迎えた後、主にどのように過ごしたいと考えていますか。あてはまるどころ（3 つ以内）をお答えください。



59歳以下の方が考える60歳以降の過ごし方としては、「趣味や余暇を楽しみたい」（60.1%）がもっとも高く、次いで「収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい」（38.8%）、「経済的に自立するために、現役同様に働きたい（23.0%）」となっています。

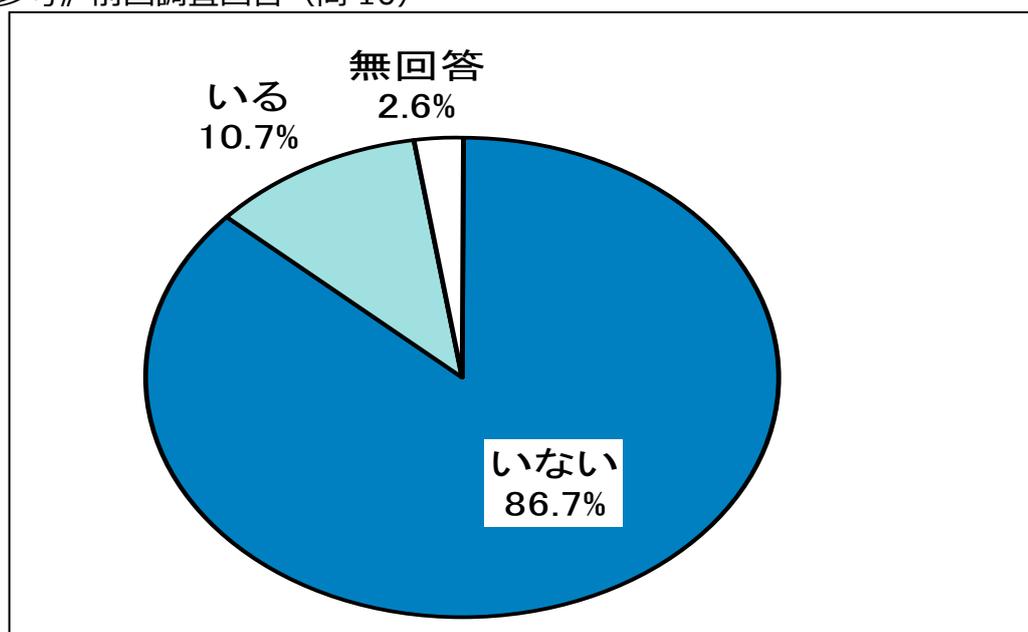
### (3) 家族と身の回りに関すること

問 12 あなた自身、またはあなたと同居されているご家族の中に右表に掲げる方がいますか。あてはまるところ（全て）をお答えください。

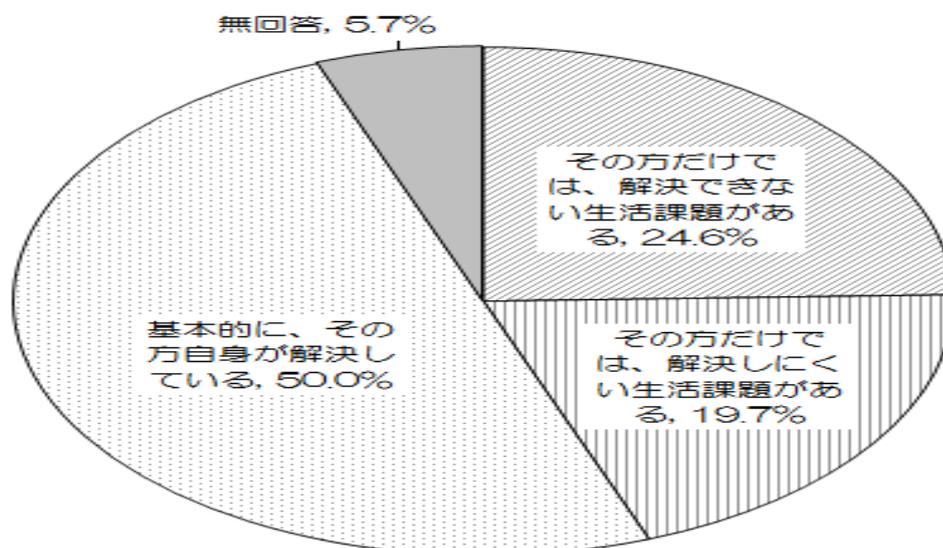


「妊産婦、乳幼児を子育て中」（8.2%）がもっとも高くなっています。  
 介助・介護等が必要な同居家族がいる方が 15.2%となっており、前回調査の 10.7%から上昇しております。

《参考》 前回調査回答（問 10）



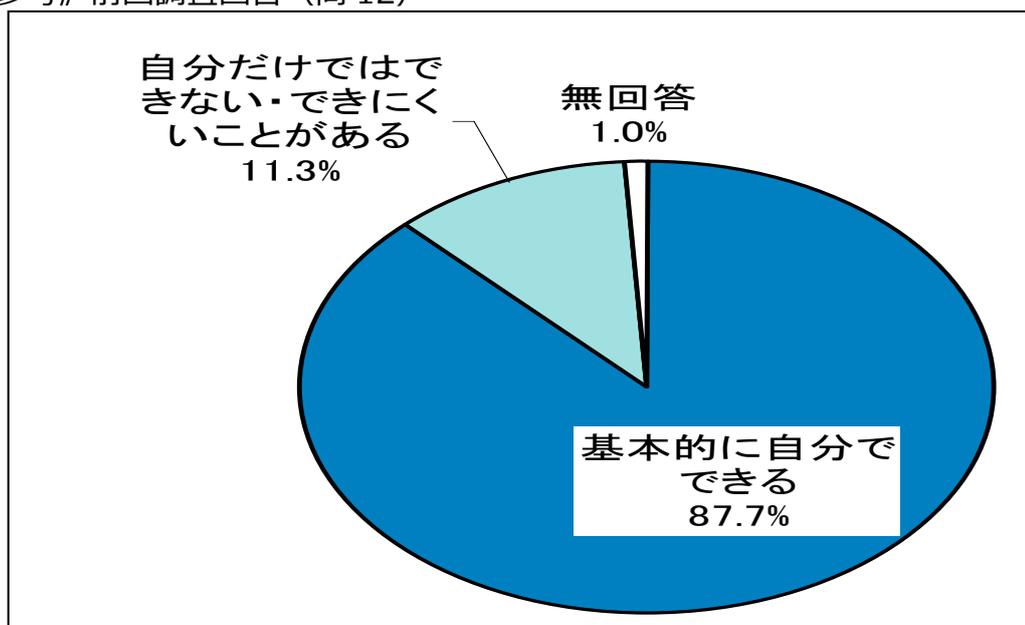
問 13 その方の生活課題（身の回りのことや家事等）は、その方自身が解決されていますか



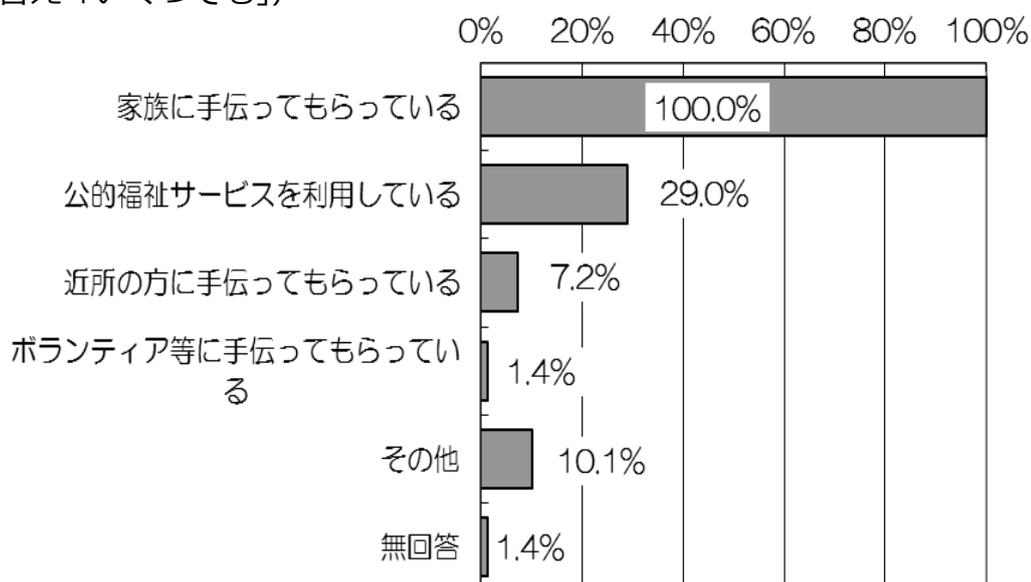
「その方だけでは、解決できない生活課題がある」と回答された方が全体の24.6%となっています。

なお、前回調査では「自分だけではできない・できにくいことがある」と回答した方が11.3%、今回調査で「その方だけでは、解決できない生活課題がある」「その方だけでは、解決しにくい生活課題がある」と回答された方の合計が44.3%と大幅な上昇となっています。

《参考》 前回調査回答（問 12）

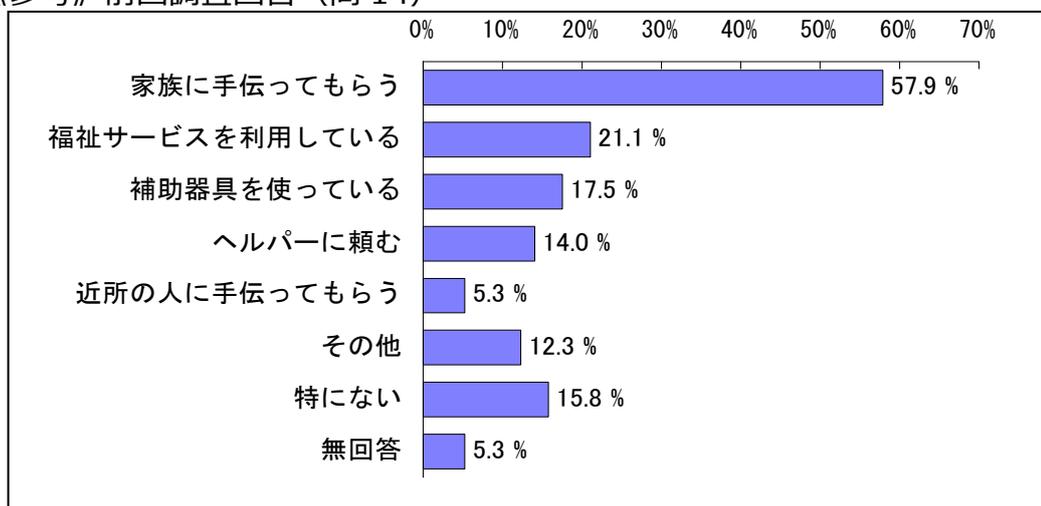


問 14 生活課題の解決に向け、どのような方法をとられていますか  
 (答え「いくつでも」)

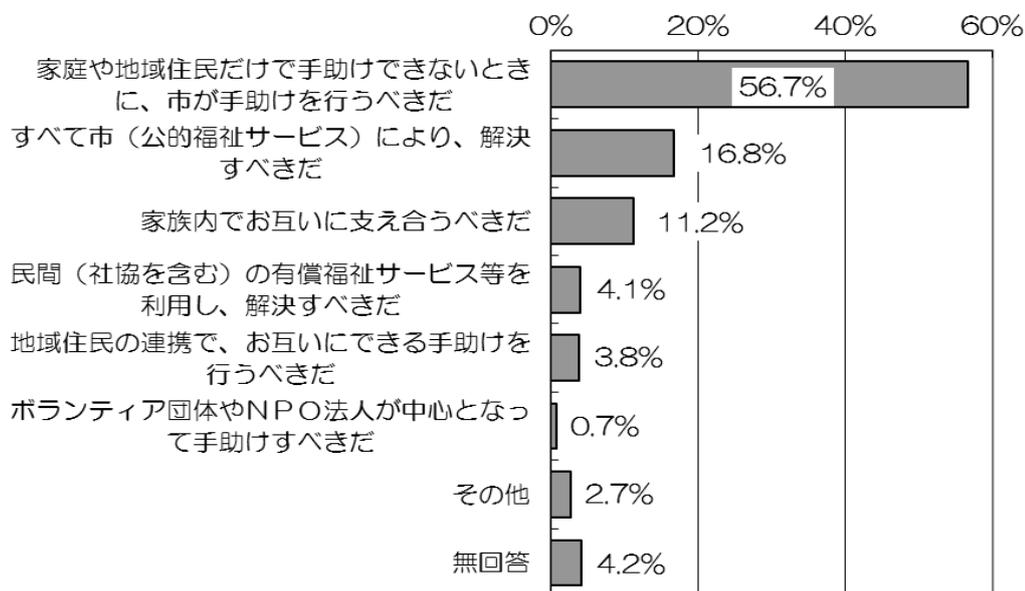


「家族に手伝ってもらっている」(100.0%) がもっとも高く、次いで「公的福祉サービスを利用している」(29.0%) となっています。  
 なお、前回調査でも「家族に手伝ってもらう」がもっとも高く、家族による支援の大きさが伺えます。

《参考》 前回調査回答 (問 14)



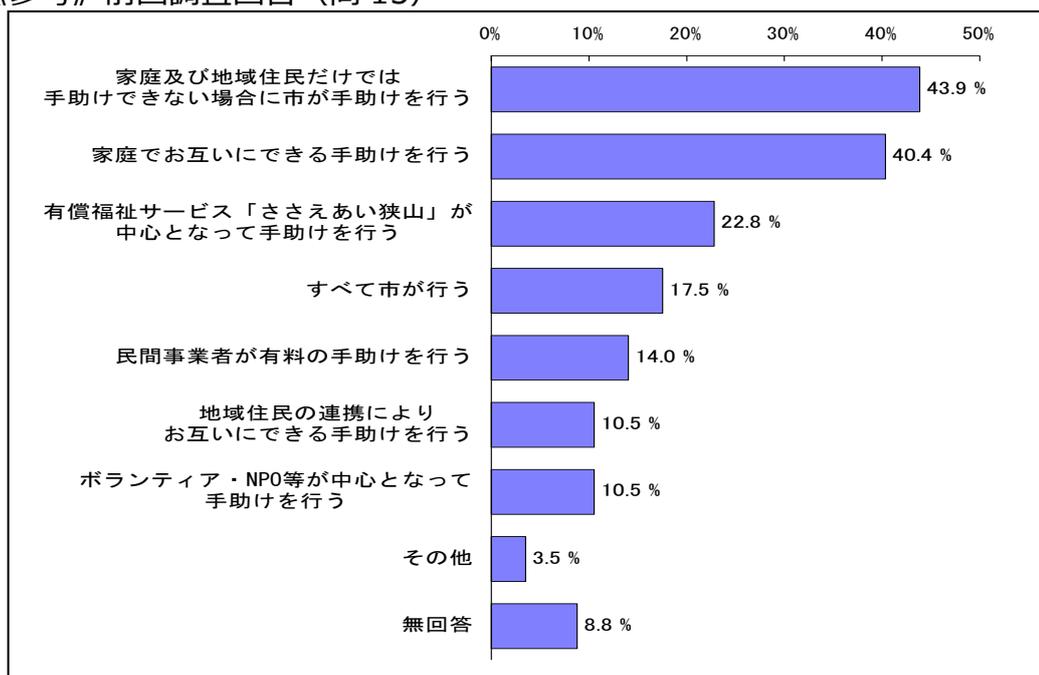
問 15 本来、生活課題を解決するための「望ましい姿」について、あなたの考えに近いものはどれですか



「家庭や地域住民だけで手助けできないときに、市が手助けを行うべきだ」（56.7%）がもっとも高く、次いで「すべて市（公的福祉サービス）により、解決すべきだ」（16.8%）となっています。

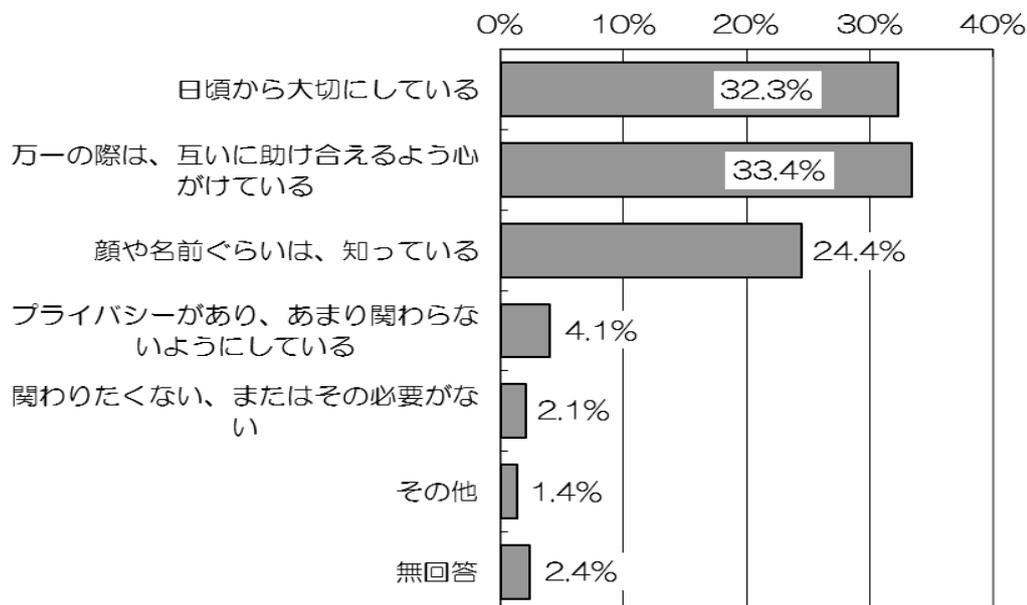
なお、前回調査では「家庭及び地域住民だけで手助けできないときに、市が手助けを行う」がもっとも高く、次いで「家庭でお互いにできる手助けを行う」となっていました。

《参考》 前回調査回答（問 15）



## (4) ご近所づきあいや自治会活動に関すること

問 16 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか



「万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている」(33.4%) がもっとも高く、次いで「日頃から大切にしている」(32.3%)、「顔や名前ぐらいは、知っている」(24.4%) となっています。  
 前回調査でも同様の上位回答となっています。

《参考》 前回調査回答 (問 19)

